在宅医療連携拠点推進事業 &

地域包括ケアモデル事業田原市バージョン

田原市高齢福祉課 医療介護連携推進室 室長 内藤喜久枝



田原市の概要

(H25年度末時点)

65,017人 15,585人 65歳以上 高齢者数 (高齢化率: 23.97%) (この1年で1%の伸び) 行政面積 188.81km 346人/k㎡ 人口密度 主な産業 自動車産業、 花き等の農業 (農業産出額・

花きの算出額は日本一)



65歳以上世帯の状況

独 居 世 帯

1,367世帯

(1年で約80世帯ずつ増加)

高齢者のみ世帯

1,460世帯(1年で150世帯増

施設入所者

354人

田原市の医療・介護資源の現状

医療資源		介護資源											
渥美病院	1施設	介護老人福祉施設	2施設										
(266床)		介護老人保健施設	2施設										
医科診療所	29施設	居宅介護支援	10施設										
(内科	22施設)	訪問介護	6施設										
歯科診療所	28施設	通所介護 通所介護(認知)	23施設 3施設										
調剤薬局	19施設	訪問入浴 グループホーム	3施設 4施設										
訪問看護	ı施設	短期入所生活介護	5施設										
訪問リハ	ı施設	短期入所療養介護	2施設										

田原市のその他の状況

複合家族の割合 国保加入率 愛知県1位 愛知県2位

「田原市国保・介護」 国保疾病(レセプト)高血圧・心臓病 介護保険申請 75才以上の4人に1 意見書疾病 認知症(64%)

<田原市の強み>平成22年度国勢調査

日本一

- 高齢者労働力率: 44.1%
- (65歳以上人口に対する65歳以上労働人口の割合)
- 完全失業者の低さ (完全失業率: 2.6%)

愛知県内一

- ・第一次産業就業者の割合
- 農業就業者の割合



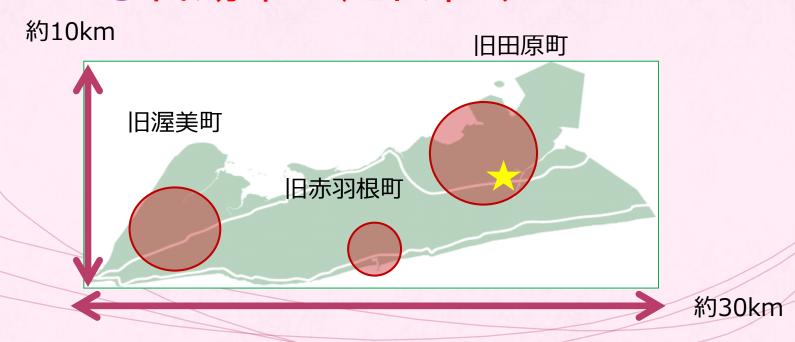
高齢になっても 仕事や役割があ る?





<田原市の弱み>

- 〇地域が広いが交通網が少ない
- 〇電車は旧田原町までしかない
- 〇特に半島の先端にはバスもない
- ○自動車が足代わり



特に医療実情の弱み

- ●病院
- ●市内内科医の高齢化
- ●有床診療所
- ●在宅医療医師
- ●近隣市町村

1施設のみ

平均年龄60代後半

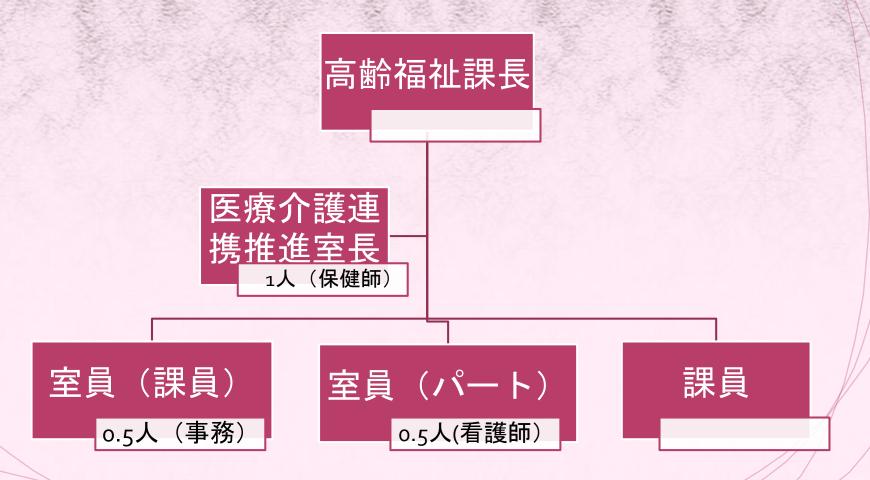
後継者問題

無

診療の合間に少数往診

豊橋市のみ

田原市の事業担当組織



今後地域包括ケアを考えると担当者の専任が必要。

田原市の現状と課題

- 医療機関の偏りと医師の高齢化が進んでいる。
- 介護認定疾病は認知症と高血圧がトップ。
- 持ち家が多くまた段差等が多い。
- 交通手段が少ない。高齢でも運転が必要。



- 医療と介護の連携・医師へのサポートは?
- ●疾病の早期発見・治療・介護(本人・家族)予防の啓発は?
- 住宅改修の補助は?
- 医療機関への交通手段は?

地域の課題と解決策

- ●今年度の対策
- ●厳しい医療現状
- ●医療と介護の連携

- 多職種連携会議
- (研修会・GWの開催で質 の向上と友好関係構築)

- (病院1施設のみ・開業
 - 医の高齢化や減少)
- (スムーズな対応で医
 - 療側の負担軽減)
- 連携推進の取組み (顔の見える関係づくり)

地域の顔の見える関係作り ~多職種の連携から~

- 医療介護連携推進協議会の立上げ
- 各医療・介護関係機関への挨拶まわり
- 担当者会議の選択(月1回)
- タイムスケジュールの作成
- 課題発見のアンケート調査
- 多職種研修会等の開催(月1回以上開催)
- ●素早く行動・関係づくりの訪問・会議の開催
- ●情報の収集・看護職とケアマネの資格の強み











田原市 医科・歯科機関情報シート

田原市医療介護連携推進室

/ 200	7 70.00									
A Decision in			N.M.M. (M.M.D.)							
00.00	10 00 0 00 T	57 100 50 100	AT WE							
Man.	00 0000	TO THE PERSON NAMED IN								
/ ran	1 22-1112	22.3117								
## a +m	### # # # # # # # # #	## N	##							
在电	MR.	有(特に決まっていない)	# (6899)							
	_									
な岩原者訪問薬剤管理指導の状況	AH .	無(特に決まっていない)	有 (殖所)							
麻薬小売業の免許	m	有								
窓口担当者	1	大本 邦子								
医療介護関係者より 薬剤師に連絡する場合 の可能な連絡方法 曜日-時間帯	7	電話 随時 FAX 随時	電話 営業時間内 FAX 随時 緊急連絡先 (090-7430-6094)							
+m%										

	通番	7							1		9 ジップドラッグ アーバス選奏薬局															
	莱局名	元気薬局 (田原店) 森下 廣樹 田原町晩田33-8 23-4036								23																
1	薬剤師名									田沼 信人 整島町前田135-1 24-1636 24-1638								大久保 裕美 · 夏日 博子 · 清水 啓行 古田町エゲ/前144-1 34-6336 34-6337								
1	佳所																									
L	電話																									
I	FAX	23-4037																								
営業日·時間		時間	月	火		木	金	_	B	時間	Я	火	水	*	金	土	B	持伽	月	火	水	木	金	±	B	
	8:30~	0	0	-		-	0	1	8:30~	0	0	0	0	0	0	1	9:30~	0	10000		0	-	-	11		
	~6:30	0	0	0	Δ		-	1	~6:30	0	0	Δ	0	0	1	1	~ 6:00	0	0	0	0	-		11		
	(協考)						備考 水曜日営業 8:30~2:00 土曜日営業 8:30~12:00								第1・第3土曜日宣客 9、30~1、00 第2・第4・第3土曜日/3体升 日・祝日・年末早始/3体升											
	在宅	有(特に決まっていない)								有(未定)								有 (未定)								
E-2.6	8.世計局事前管理指導の状況	西京の東州省域市場の状況 無									無無															
1	容楽小売業の免許	有								有有有																
	窓口担当者	森下 廣樹							田沼 信人								大久保 裕美									
医療介護関係者より 薬剤師に連絡する場合 の可能な連絡方法 曜日・時間帯							電話 営業時間内 電話 随時 FAX 随時 累急連絡先(080-3532-										32-9	236								
	その他																									

前半の振り返り事業 家族支援

- 在宅介護家族の支援の調整会議 (随時)
- 認知症家族支援教室の開催(月1回)
- レスパイト入院の確保
- (渥美病院が10月から地域包括ケア病 棟等の新設の中にレスパイト床を含む)





地域の課題と解決策

- 今年度の対策 2
- 介護予防教室の充実・認知症対策



- チェックリストから運動機能低下が多く見られるため介護予防教室に介護予防リーダーを活用する
- (簡単な体操・運動の定着化を図る)
- 高血圧が多い地域なので脳梗塞等の認知症予防 教室をJAと共催で実施する。
- 医師の意見書等から認知症の増加のため家族 支援教室の定期的な開催を実施する。月1回
- 各種団体(JA・老人クラブ等)に啓発のため 出前講座の実施

介護・認知症予防

- 介護予防口腔教室の開催(歯科医師会と協力)
- 認知症予防教室の開催 (JAと共催)
- グループホーム等と地域の連携会議
- 認知症サポーター養成講座の開催(8回)
- (民生委員・学生・老人クラブ・商工会等)
- 徘徊高齢者見守りネットの構築
- 認知症パンフレット作成・全戸配布





パンフ レット 作成

地域で支え合おう

認知症

最近こんなこと ありませんか?

- □同じ事を何度も言ったり 聞いたりする。
- 一人や物の名前が出てこない。
- 季節に合わない服装をしている。
- 料理の手順が悪くなった。
- だらしなくなった。

詳しくは中を聞いてみてください。



- ●認知症の患者は全国で、平成 24 年は約 462 万人に達するとされています。 (65 歳以上の 15%と推計されます。)
- ●田原市においても、65 歳以上(約 15,000 人)の 1 割弱の人に認知症状が みられています。すでに他人事ではありません。

田原市高齢福祉課

皆様に知ってほしい特徴的な活動 1 地域包括ケア啓発事業

出前講座・・・民生委員・商工会・学校 老人クラブ・介護保険事業 者・JA女性部等

何処にもでも声をかける・何処にでも行く 保健師の強み健康教育が得意 (寸劇や地区診断を含め楽しく学べる講座の展開)











皆様に知ってほしい当地域の活動2~活動情報共有ツールの活用~

電子連絡帳活用事業

- 医療・介護事業所を繋ぐICT「東三河ほいっぷネットワーク」に参加
- 説明会・講習会の開催 (介護保険事業者・三師会等)
- 介護保険事業者全事業所参加
- ・今後は活用方法の検討が必要





来年度にむけて 課題の未解決 (住まい・交通・生活支援)

今年度

医療・介護職の顔の見える関係や、職種一堂の 研修会は数回実施することができ一応の効果はあっ た。

介護予防・認知症予防も取組み始める事ができた。 来年度

更に介護予防の充実として、介護予防リーダーやボランティア等の活用や人材育成を目指す。

- 持ち家リフォーム補助やサ高住の検討
- 交通手段の検討
- ちょっとした生活の支えあいの構築

最後にちょっと宣伝









問い合わせ先

- ●田原市高齢福祉課
- 医療介護連携推進室
- •担当者 内藤喜久枝 杉浦宏紀
- MAIL naito-kikue@city.tahara.aichi.jp
- ●電話 0531-23-4654
- FAX 0531-23-3545
- 住 所 441-3492

田原市田原町南番場30番地1

本日はご静聴誠に ありがとうございました。

